

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

|           |            |       |    |              |
|-----------|------------|-------|----|--------------|
| 記入年月日     | 平成16年4月20日 |       |    |              |
| 平成16年度    | 事業コード      | 15110 | 電話 | 042-754-3604 |
| 担当部課名     | 生涯学習部      | 図書館   | 奉仕 | 係            |
| 事務事業名     | 図書館サービス経費  |       |    |              |
| 予算上の事務事業名 | 図書館サービス経費  |       |    |              |

## 1 総合計画における位置づけ

|       |      |                     |        |
|-------|------|---------------------|--------|
| 政策名   | 第5章  | いきいきとした生涯学習社会をつくります | 事業開始年度 |
| 基本施策名 | 第1節  | 生涯学習の推進             | 63以前年度 |
| 施策名   | 第1施策 | 生涯学習の推進充実           |        |

## 2 実施根拠及び関連法令等

|         |
|---------|
| 図書館法第3条 |
|---------|

## 3 事務の区分

法定受託事務

## 4 経費の区分

その他の経費

## 5 事務事業の分類

市単独事業

## 6 受益者負担

なし

## 7 事業概要

|   |                                 |    |
|---|---------------------------------|----|
| (1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか   | (2)対象(誰、何)                      |    |
| 図書館における児童サービスの一環として、幼児期から本に親しみ、読書習慣を育成すること及び保護者や読み聞かせボランティア等に、本の選書や読み聞かせの実技指導を学習する機会を提供し、児童等の読書環境の充実を図ることを目的とする。合わせて、児童書の読書推進及び図書館利用者の増大と定着を図ることも目的とする。   | 幼児、または児童とその保護者、もしくは読み聞かせボランティア等 |    |
|   | 対象数                             | 単位 |
|   | 140                             | 人  |
| (3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容  |                                 |    |
| <p>児童文学講座「絵本の選び方、読み聞かせ方」</p> <p>内容 対象年齢に合わせた、絵本・物語の選び方や与え方、読み聞かせ方</p> <p>対象 1回目 保護者等 2回目 読み聞かせボランティア及びボランティア希望者</p> <p>日時 1回目 平成15年10月28日、31日 2回目 平成16年3月12日、19日</p> <p>講師 ストーリーテラー 石川 道子氏</p> <p>報償費 24千円×4回=96千円 1,800円×3人×2回=10,800円(保育謝礼)</p> <p>平成13年度までは、古典文学講座(全5回・募集180人)を開催した。</p> |                                 |    |
| (4)個別計画の概要  | 概要                              |    |
| 計画名   | なし                              |    |
| 計画年次  | 年度～年度                           |    |

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

| 成果指標 | 指標名       | 指標式・指標の単位            | 指標設定の意図                    | 指標の推移(年度) |     |     |     |     |
|------|-----------|----------------------|----------------------------|-----------|-----|-----|-----|-----|
|      |           |                      |                            | 13        | 14  | 15  | 16  | 17  |
| 成果指標 | 児童書回転数(回) | 児童書貸出÷児童書蔵書数<br>冊数   | 児童書の蔵書の貸出状況により利用実態をみる      | 1.3       | 1.4 | 1.5 | 1.6 | 1.7 |
|      |           |                      |                            | 2.7       | 2.8 | 2.9 | 3.0 | 3.1 |
| 活動指標 | 講座出席比率(%) | 講座出席者数÷講座定員数<br>*100 | 講座出席率から、応募者の講座内容に関する充実度をみる | 66        | 72  | 97  | 98  | 98  |

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

| 事業費        | 決算(予算)額 | 平成13年度 | 平成14年度  | 平成15年度  | 平成16年度  | 平成17年度  |
|------------|---------|--------|---------|---------|---------|---------|
|            |         | 決算     | 決算      | 決算(見込み) | 予算      | 予算(見込み) |
| 人員・時間数     |         | 2人・11日 | 4人・15日  | 3人・16日  | 4人・11日  | 4人・9日   |
| 人件費        |         | 114    | 109     | 87      | 74      | 67      |
| その他経費      |         |        |         |         |         |         |
| 合計         |         | 234    | 229     | 194     | 181     | 174     |
| 特定財源       |         |        |         |         |         |         |
| 対象数(人)     |         | 570    | 144     | 140     | 160     | 160     |
| 単位あたり経費(円) |         | 410.5  | 1,590.3 | 1,385.7 | 1,131.3 | 1,087.5 |

10 個別評価(担当課による一次評価)

|  |              |  |   |
|--|--------------|--|---|
| (1)達成度<br>評価<br>A ▼  | A:達成している     | チェック項目   | ・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 |
|  | B:一部達成していない  |  | ・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 |
|  | C:達成していない    |  | ・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 |
|  |              | 説明   | 児童書の貸出冊数の増加やおはなし会への参加状況から、講座実施による一定の成果が上がっていると考えられる。  |
| (2)必要性<br>評価<br>A ▼  | A:適応している     | チェック項目   | <input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている   |
|  | B:一部適応していない  |  | <input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している  |
|  | C:適応していない    |  | <input checked="" type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない  |
|  |              | 説明   | 「子どもの読書」を家庭や地域等で推進することが求められている中で、図書館としても積極的に支援していく必要がある。また子どもの読書に関する市民ニーズは、非常に高いと言える。                 |
| (3)有効性<br>評価<br>A ▼  | A:有効である      | チェック項目   | <input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である  |
|  | B:一部有効でない    |  | <input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている   |
|  | C:有効ではない     |  |   |
|  |              | 説明   | 子どもの読書週間を育成するための、きっかけとして有効であると考えられる。また、家庭や学校等における読書環境醸成に寄与する事業である。                                    |
| (4)効率性<br>評価<br>B ▼  | A:優れている      | チェック項目   | <input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている  |
|  | B:一部改善の余地がある |  | <input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている   |
|  | C:改善の余地がある   |  | <input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている   |
|  |              | 説明   | 本講座の費用対効果は適当であるが、今後は、公民館等で子ども読書に関わる活動を行っているグループ等との連携を模索する必要もあると考えられる。                                 |
| (5)公平性<br>評価<br>A ▼  | A:公平である      | チェック項目   | <input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である   |
|  | B:一部公平でない    |  | <input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である  |
|  | C:公平でない      |  | <input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)                                      |
|  |              | 説明   | 講座の実施目的に合わせた募集をしている。また保護者に限定せず、読み聞かせボランティアやボランティア希望者も対象としている。<br>図書館法第17条(無料の原則)を堅持したい。               |
| (6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策   |              | (7)今後の課題となっていること   |   |
| 子ども読書活動を支援しているNPOや実践的活動を行っているボランティアグループ等が、本講座運営へ参画することにより内容等の充実を期待できる。 |              | 他市で実施しているような読み聞かせやおはなし会等を図書館と協働で担っているボランティアグループの養成・育成を視野にいれた講座の実施も検討すべきである。また、工作教室等の実施による利用者の増大、定着を図ることや講演会の開催により、図書館活動への理解、協力を求めていく努力も必要と言える。 |   |

11 総合評価(担当課による一次評価)

|                                     |         |   |
|-------------------------------------|---------|---|
| 評価                                  | AA ▼    | 他自治体の類似事業との比較   |
| 今後の進め方                              |         | 県内及び近隣の同規模、特色ある講座を実施している図書館を対象に調査を行ったが、実施内容や回数、予算等は適当であった。  |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 継続      | 総合評価に関する説明  |
| <input type="checkbox"/>            | 見直し     | 職員定数の増員により、図書館サービスのあり方や運営体制等の検討についても現在検討をすすめている。図書館の利用率を増加させるためには、幼い時から図書館を利用する習慣を身につけさせることが必要不可欠であり、そのためには、幼児期における絵本等の読み聞かせ等はたいへん重要な意味をもっているといえる。このことから、本事業については今後とも図書館サービスの充実の一環として、更に事業内容や規模等を検討していく予定である。 |
| <input type="checkbox"/>            | 完了・廃止   |   |
| <input type="checkbox"/>            | 完了(廃止)済 |   |

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

|  |
|--|
|  |
|--|